

2023年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 プレイヤーコースピアノ・キーボード専攻											
専攻実技 1											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	杉本清隆			実務 経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
卒業時にビジネススペースでのデモ演奏作品が発表できることを見据え、作品制作関連授業、ビジネス関係授業と連動しながら、講師によるプロデュース、メンタリングを重視した実技授業とする。そのための基礎的な演奏スキル、基礎的な理論の習得、様々なジャンルのアプローチを体得するなかで、オリジナリティの追求とビジネススペースでの発表活動についての考察を深め、社会人までの道筋を具現化してゆく。											
到達目標											
基礎的演奏力の体得、プレイヤーとしての多角的な知識の習得、オリジナリティの確立を目標とする。講師は演奏スタイルを学生と共に検討し、個別最適化されたフィードバックを掲示し、スキルをブラッシュアップしてゆく。経済的基盤または社会的基礎における再現性、継続性が見込める作品の制作や活動を見据えた知識とスキルの習得が本授業における最上位目標となる。											
授業方法											
授業は一人一台キーボードを使用して行います。各テーマに沿った課題のレクチャー、練習、アドバイスをし、個別最適化された課題を発見します。											
成績評価方法											
試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度(居眠り、私語など)にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
配布プリント、講師作成リードシート											
回数	授業計画										
第1回	ピアノの音色でバラード曲の演奏について、適切なボーイングやアプローチを理解出来る。										
第2回	1回目授業にて習得した技術を用いて、ピアノのみ演奏の場合の適切なバックギンスタイル(バラード用)で実際に演奏出来る。										
第3回	1、2回目授業にて習得し技術を用いて、バンド内演奏の場合の適切なバックギンスタイル(バラード用)で実際に演奏出来る。										

専攻実技 1

第4回	ピアノの音色でRock曲の演奏について、適切なアプローチを理解出来る。
第5回	4回目授業にて習得した技術を用いて、ピアノ音色で様々なバックギングパターン（Rock風）で実際に演奏出来る。
第6回	オルガン、ストリングス等Rock曲に合わせてシンセサイザーを実際に演奏出来る。
第7回	ピアノの音色でFunk曲の演奏について、適切なアプローチを理解出来る。
第8回	7回目授業にて習得した技術を用いて、ピアノ音色で様々なバックギングパターン（Funk風）で実際に演奏出来る。
第9回	Clavinet、エレクトリックピアノ等Funk曲に合わせてシンセサイザーを実際に演奏出来る。
第10回	ピアノの音色でJazz曲の演奏について、適切なアプローチを理解出来る。
第11回	10回目授業にて習得した技術を用いて、ピアノ音色で様々なバックギングパターン（Jazz風）で実際に演奏出来る。
第12回	エレクトリックピアノでのJazz風バックギングを学び、11回授業で習得したピアノ音色でのバックギングとのボーシングの違いを理解出来る。
第13回	1コード（メジャーキー）のアドリブ演奏が出来る。
第14回	1コード（マイナーキー）のアドリブ演奏が出来る。
第15回	8～14回目に習得した技術を元に、自由曲にて授業内発表会を行う。

2023年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 プレイヤーコースギター専攻											
専攻実技 1											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	恒枝賢治			実務 経験	有	職種	ミュージシャン、プロデューサー、レコーディングエンジニア、音源制作				
授業概要											
卒業時にビジネスベースでのデモ演奏作品が発表できることを見据え、作品制作関連授業、ビジネス関連授業と連動しながら、講師によるプロデュース、メンタリングを重視した実技授業とする。そのための基礎的な演奏スキル、基礎的な理論の習得、様々なジャンルのアプローチを体得するなかで、オリジナリティーの追求とビジネスベースでの発表活動についての考察を深め、社会人までの道筋を具現化してゆく。											
到達目標											
各個人の思考に沿った専門技術を歴史的背景も含めて学び、考察力を習得する。作品や物事について自分の頭で考え、自分自身の考え、もしくは解答を持つことを身につける。「どういうつもりですか？」を常に考え、それを作品やパフォーマンスに生かすことで技術を向上させる。											
授業方法											
基本は少数人数での個人レッスン形式で、全体ディスカッションも適宜採用し、専門技術に至るまでの基礎的必須技術の習得を中心に進行する。											
成績評価方法											
試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度(居眠り、私語など)にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
譜面、音源、映像等適宜用意。④ター、チューナー、シールド、ピック等の楽器や必需品を各自用意。④ポタストと替えの弦は必ずギターケースに入れておくこと。											
回数	授業計画										
第1回	各個人の志向と、演奏レベルの確認。各個人の志向に必要な演奏技術と考え方の説明。機材の解説										
第2回	リードシートの読み方の基本パワーコード、簡単なオープンコードで1曲弾いてみよう。5、6弦の音名の把握。										
第3回	リズムとピッキング。リズムキープ練習										

専攻実技 1

第4回	ピッキング、ストローク練習。ブラッシングやミュートでリズムを作る。
第5回	コードでオリジナル曲を作る基本とコツ
第6回	ポジショニングをマイナーペンタに当てはめる。
第7回	3コードブルースを題材にマイナーペンタ練習。
第8回	3コードブルースを題材に同主のメジャーペンタとマイナーペンタ自由に行き来する練習。
第9回	コードの仕組みと組み立て方。脱コードブック
第10回	楽曲に合わせた練習 1。アドバイスと必要な技術の説明。
第11回	楽曲に合わせた練習 2。アドバイスと必要な技術の説明。
第12回	ギターの音作りのコツ。ミックスやバンドアンサンブルを意識した音。
第13回	楽曲に合わせた練習 3。アドバイスと必要な技術の説明。
第14回	楽曲に合わせた練習 4。アドバイスと必要な技術の説明。
第15回	まとめ

2023年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 プレイヤーコースベース専攻											
専攻実技1											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	永田範正			実務 経験	有	職種	ミュージシャン、作編曲家、プロデューサー、ディレクター				
授業概要											
卒業時にビジネススペースでのデモ演奏作品が発表できることを見据え、作品制作関連授業、ビジネス関係授業と連動しながら、講師によるプロデュース、メンタリングを重視した実技授業とする。1年次には、そのための基礎的な演奏スキル、基礎的な理論の習得、様々なジャンルのアプローチを体得するなかで、オリジナリティーの追求とビジネススペースでの発表活動についての考察を深め、社会人までの道筋を具現化してゆく。											
到達目標											
基礎的演奏力の体得、ベーシストとしての多角的な知識の習得、オリジナリティーの確立を目標とする。講師は演奏スタイルを学生と共に検討し、個別最適化されたフィードバックを掲示し、スキルをブラッシュアップしてゆく。経済的基盤または社会的基盤における再現性、継続性が見込める作品の制作や活動を見据えた知識とスキルの習得が最上位目標となる。											
授業方法											
楽器のチューニング、ウォーミングアップ等の準備をしたうえで、練習フレーズでのスキルアップ、読譜による既存ベースラインの習得と初見演奏の訓練、リードシートを見てオリジナルのベースライン作り等をおこなう。授業外で作成した自作曲のブラッシュアップ、アンサンブル授業やショーケースでの担当曲の演奏アドバイス、自主的なバンド活動等における演奏のアドバイスもおこなう。											
成績評価方法											
試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度(居眠り、私語など)にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
講師作成のリードシート、課題曲のリードシート。											
回数	授業計画										
第1回	楽器の知識。フィンガー奏法の基本フォーム。										
第2回	チューニングと楽器メンテナンスの知識。左手フィンガリングの基本フォーム。										
第3回	アンプやミキサー等機材の知識。ピック奏法の基本フォーム。										

2023年度 日本工学院八王子専門学校

ミュージックアーティスト科 プレイヤーコースベース専攻

専攻実技1

第4回	4和音のコードネームの読み方。コードの分散和音。
第5回	8分音符主体の読譜。スラップ奏法の基本フォーム。
第6回	読譜による有名なベースラインの演奏その1。
第7回	読譜による有名なベースラインの演奏その2。
第8回	基礎的なリードシートの読み方とベースライン作りその1。進行とディグリーネーム。
第9回	基礎的なリードシートの読み方とベースライン作りその2。セクション毎のアプローチ。
第10回	自作曲または課題曲のベースラインのブラッシュアップその1。
第11回	自作曲または課題曲のベースラインのブラッシュアップその2
第12回	授業内理解度チェックと演奏発表。
第13回	授業内理解度チェックと演奏発表における問題点の修正。
第14回	循環コードにおけるアドリブでのバックギング演奏。
第15回	前期のまとめ。

2023年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 プレイヤーコースドラム専攻											
専攻実技 1											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	杉本清隆			実務 経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
卒業時にビジネススペースでのデモ演奏作品が発表できることを見据え、作品制作関連授業、ビジネス関連授業と連動しながら、講師によるプロデュース、メンタリングを重視した実技授業とする。そのための基礎的な演奏スキル、基礎的な理論の習得、様々なジャンルのアプローチを体得するなかで、オリジナリティーの追求とビジネススペースでの発表活動についての考察を深め、社会人までの道筋を具現化してゆく。											
到達目標											
基礎的演奏力の体得、プレイヤーとしての多角的な知識の習得、オリジナリティーの確立を目標とする。講師は演奏スタイルを学生と共に検討し、個別最適化されたフィードバックを掲示し、スキルをブラッシュアップしてゆく。経済的基盤または社会的基礎における再現性、継続性が見込める作品の制作や活動を見据えた知識とスキルの習得が本授業における最上位目標となる。											
授業方法											
授業は練習パッド、ドラムセットを使用して行います。各テーマに沿った課題のレクチャー、練習、アドバイスをし、個別最適化された課題を発見します。											
成績評価方法											
試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度(居眠り、私語など)にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
配布プリント、講師作成リードシート、ドラムスティックは各自で用意すること											
回数	授業計画										
第1回	楽器の知識、セッティングの知識、フォーム、基礎チェック その1										
第2回	楽器の知識、セッティングの知識、フォーム、基礎チェック その2										
第3回	ヒヤリングを行い、疑問点の解消、またはオリジナル楽曲制作のドラムアレンジ										

2023年度 日本工学院八王子専門学校

ミュージックアーティスト科 プレイヤーコースドラム専攻

専攻実技 1

第4回	アレンジのヒントになるビートの作り方 その1
第5回	アレンジのヒントになるビートの作り方 その2
第6回	オリジナル作品をクリックに合わせて演奏する
第7回	マイナスワン音源を使用して演奏をする
第8回	中間発表と各スケジュール作成 自分で目標を決める
第9回	ヒヤリングを行い、疑問点の解消、またはオリジナル楽曲制作のドラムアレンジ その2
第10回	キメの作り方と演奏テクニック
第11回	いろいろなクリックに合わせて演奏する
第12回	オリジナル作品をマイナスワンで演奏する
第13回	発表に向けての準備
第14回	オリジナル作品をパフォーマンスする (発表)
第15回	前期まとめ